

# 一般教育訓練明示書

講座の名称	介護職員実務者研修(通信課程) 無資格者													
実施方法	① 通学 ( 昼間・夜間・土日 ) ② 通信 スクーリング(回数 7回) ※他、開講式、修了試験あり													
指定講座番号	1	2	1	9	7	—	1	7	1	0	0	—	3	5
講座の創設年月日	一般教育訓練給付金対象講座の指定期間					過去一年の講座実績			入講者数(累積) (9人)			修了者数 (9人)		
平成29年 4月 12日	平成32年 3月 31日まで													
訓練期間	6ヶ月					総訓練時間			457.5時間					
1. 教育訓練目標														
①取得目標とする資格の名称、目標レベル						介護福祉士実務者養成研修修了								
②①に係る資格・試験等の実施機関名称						厚生労働省								
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等						(1) 受講料を全額支払っていること。 (2) 第7条に定めるカリキュラムを全て履修していること。また、科目ごとに1回以上行う課題について期日厳守で提出し、添削して70点以上であること。70点に満たない者についてはレポート提出その他再指導を行う。 (3) 評価は原則として担当講師が行う。 (4) 研修修了判定試験が評価基準を満たしていること。 評価基準は100点満点とし、70点以上の評価を得た場合に評価基準を満たしたと認定する。 (本校学則第15条)								
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況						介護福祉業界								
2. 教育訓練の内容														
教科 (カリキュラム)						時間			使用教材名					
人間の尊厳と自立						5 時間			介護職員実務者研修(450時間研修) 第1巻 人間と社会					
社会の理解 I						5 時間								
社会の理解 II						30 時間			介護職員実務者研修(450時間研修) 第2巻 介護 I					
介護の基本 I						10 時間								
介護の基本 II						20 時間								
コミュニケーション技術						20 時間								
生活支援後術 I						20 時間								
生活支援後術 II						30 時間			介護職員実務者研修(450時間研修) 第3巻 介護 II					
介護過程 I						20 時間								
介護過程 II						25 時間								
介護過程 III						45 時間			介護職員実務者研修(450時間研修) 第4巻 ことごとからだのしくみ					
発達と老化の理解 I						10 時間								
発達と老化の理解 II						20 時間								
認知症の理解 I						10 時間								
認知症の理解 II						20 時間								
障害の理解 I						10 時間								
障害の理解 II						20 時間								
ことごとからだのしくみ I						20 時間								
ことごとからだのしくみ II						60 時間			介護職員実務者研修(450時間研修) 第5巻 医療的ケア					
医療的ケア						57.5 時間								
3. 受講者となるための要件 (この講座を受講するために必要とされている条件など)														
①受講するに当たって必要な実務経験等						特になし								
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準						特になし								
③その他						特になし								

# 一般教育訓練明示書

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況					
<b>(1) 資格取得状況</b>					
① 昨年度内の受講修了者数	9	人			
② ①のうち目標資格の受験者数	9	人	受験率(②/①)	100.0	%
③ ②のうち合格者数	9	人	合格率(③/②)	100.0	%
④ 上記②・③の回答者数	9	人			
<b>(2) 受講修了者による講座の評価等</b>					
① 回答者総数	9	人			
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	1	人	②A: 就業者計 9	
	2 非正社員、派遣社員	8	人		
	3 その他の就業(自営業等)	0	人		
	4 学生	0	人	②B: 非就業者計 0	
	5 求職中	0	人		
	6 その他(主婦、無職等)	0	人		
③ 就業中の受講者による講座の評価	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	5	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下) 9	
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	1	人		
	3 社内外の評価が高まる	1	人		
	4 円滑な転職に役立つ	0	人		
	5 趣味・教養に役立つ	1	人		
	6 その他の効果	1	人		
	7 特に効果はない	0	人		
④ 就業していない受講者による講座の評価	1 早期に就職できる	0	人	④の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下) 0	
	2 希望の職種・業界で就職できる	0	人		
	3 より良い条件(賃金等)で就職できる	0	人		
	4 趣味・教養に役立つ	0	人		
	5 その他の効果	0	人		
	6 特に効果はない	0	人		
⑤ 受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	0	人	⑤の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下) 0	
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	0	人		
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	0	人		
	4 就職していない	0	人		
⑥ 講座の全体評価	1 大変満足	2	人	⑥の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下) 9	
	2 おおむね満足	7	人		
	3 どちらとも言えない	0	人		
	4 やや不満	0	人		
	5 大いに不満	0	人		
5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法					
1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法	各科目ごとに課題の添削を実施。確認後解答解説を配布。70点に満たないものについては再提出、その他指導を行う。				
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数	施設所在地にて受講期間中に計7日実施。(他、開講式、修了試験あり)				
6. 修了を認定するための基準並びに修了を認定する時期及びその方法					
(1) 受講料を全額支払っていること。 (2) 第7条に定めるカリキュラムを全て履修していること。また、科目ごとに1回以上行う課題について期日厳守で提出し、添削して70点以上であること。70点に満たない者についてはレポート提出その他再指導を行う。 (3) 評価は原則として担当講師が行う。 (4) 研修修了判定試験が評価基準を満たしていること。 評価基準は100点満点とし、70点以上の評価を得た場合に評価基準を満たしたと認定する。 (本校学則第15条)					

# 一 般 教 育 訓 練 明 示 書

7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法	
(1)受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	受講生より質問を受け付け、添削担当講師より回答。
(2)受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例:資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	希望者には、福祉関連の求人情報の提供及び自社で運営する施設での就職案内をする。
8. その他の事項	
指定教育訓練実施者名及び代表者名	株式会社元気グループホールディングス (代表者名: 石坂 郁男)
住所及び連絡先	千葉県八千代市勝田台北1-2-11 山万勝田台ビル3F TEL 047-406-5020
施設名称及び施設長名	元気キャリアアカデミー (施設長: 石坂 郁男)
住所及び連絡先	千葉県八千代市勝田台北1-2-11 山万勝田台ビル4F TEL 047-406-5020
給付制度担当部署・者	株式会社元気グループホールディングス 業務部 (担当者: 鈴木 佑梨)
連絡先	TEL 047-406-5020
一般教育訓練経費 支払い方法	1. 一般教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②) 円
① 一括払	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。) 0 円
② 分割払	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。) 118,000 円 (うち、必須教材費 13,824 円)
③ 両方可能	2. 一般教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④) 円
	① 副読本代(税込額) 円
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額) 円
	③ 施設維持費(税込額) 円
	④ その他(法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額) 円
	3. 総額 (1+2) (税込額) 円

[ 特 記 事 項 ]

--